

【実習】 ベイズ線形回帰

岡山大学 異分野基礎科学研究所

大槻純也



実習課題

1. サンプルコードのモデルを自分の好みに合わせて変更する
 - サンプルコードはsin関数
 - データ点 x_0, x_1, \dots は乱数で生成
2. データ点数を1からひとつずつ増やして予測分布の変化を追っていく。
(参考：PRML Fig.3.8)
3. パラメータの取り方により結果がどのように変化するか調べ、最適な値の決め方について考える
 - パラメータ β および α
 - 基底に関するパラメータ (ガウス関数なら間隔と幅)